

第2回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議・議事概要

日時：令和2年4月5日（日）19時～21時半

場所：沖縄県医師会

議題：

- 1 県内の患者発生状況について
- 2 急激な患者増加を受けた対応について
(医療体制、検査拡充、活動自粛、県の本部体制)
- 3 イベント開催の方針について(商工労働部)
- 4 学校等の取り扱い方針について(教育庁)

議事要旨：

- 1 対策を考えるには、まずは感染経路の確認が重要。次に入院医療機関の情報共有も重要。

【医療体制】

- 2 対応に必要な病床数 2000 床の 2 割をまず確保する。(他地域の考え方も同様)
- 3 患者を一部の病棟に集約するのか、各病院に分散して病床を確保するのか検討が必要。また、疑似症患者と確定患者を分けて受け入れることや、ICU・ECMO を集約するという 것도 検討課題。

【検査体制】

- 4 患者が増加すると検査よりも先に外来診療が回らなくなる。受診の考え方は、従来通り、「4日程度様子を見て」ということになる。
- 5 各医療圏に検体採取場所を集約して設置するべき。まずは那覇市に必要となる。那覇市立病院に設置することを提案。
- 6 指定医療機関での検体採取をどのように行うか。
- 7 宮古・八重山の検査体制を強化すべき。

【活動自粛】

- 8 2週間限定であれば、県外からの旅行者の制限を提案するのはよいのではないか。
- 9 東京などがロックダウンして人の流入が加速してからでは遅い。判断は早く行う必要がある。
- 10 特に小規模離島への観光客は心配になる。何らかの対策が必要。

【県の本部体制】

- 11 県の本部体制を強化し、情報の一元化や医療機関間の調整を担う組織の立ち上げは、是非急ぎお願いしたい。

【学校の取扱い】

- 12 学校関係の判断をするに当たって、今後は感染症の専門家に聞いてから判断をお願いしたい。

【イベント等開催】

- 13 地域区分の認識としては、現段階では「②感染確認地域」のみである。